

福岡市 Well-being & SDGs 登録制度：マスター



事業者名	株式会社福岡銀行
代表者名	五島 久
所在地	810-0001 福岡市中央区天神2丁目13番1号
電話番号	092-723-2561
ホームページ	https://www.fukuokabank.co.jp

Well-being 向上 に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・テレワーク、フレックスタイム、時差出勤、裁量労働等の各種制度を導入し、業務内容に応じて選択できる柔軟な勤務形態を整備。 ・産前産後休暇、育児休業、男性育児休業の取得推進、育児のための短時間勤務制度、企業内保育所の利用、育児サービス利用料補助、両立支援相談窓口、復職支援プログラム、認可外保育料補助、ジョブリターン制度、パートナー帯同制度、配偶者転勤休職制度、時間外労働の制限措置、短時間勤務制度（介護）、旧姓使用制度、介護休暇等の FFG 両立支援制度を導入し、仕事と生活のバランスをとりながらキャリアを積み、更に活躍することを応援している。 		
	<input type="radio"/>	アンケートの 社内共有	<input type="radio"/>

SDGs達成に向けた取組みチェックシート

カテゴリ	チェック項目	3側面該当			具体的な取組	関連する主なSDGs																	
		環境	社会	経済		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
						SDG1 SDG2 SDG3 SDG4 SDG5 SDG6 SDG7 SDG8 SDG9 SDG10 SDG11 SDG12 SDG13 SDG14 SDG15 SDG16 SDG17	SDG1 SDG2 SDG3 SDG4 SDG5 SDG6 SDG7 SDG8 SDG9 SDG10 SDG11 SDG12 SDG13 SDG14 SDG15 SDG16 SDG17																
人権・労働	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者、性的マイノリティ等)が、十分に活躍できる環境が整備されている。	○	○		・人事部にDE & I推進室を設置し、全ての従業員が能力を最大限に発揮できる環境を整備。 ・障がい者を採用し、特性や経験が活かせる職場環境を整備。 ・行員向けLGBTQセミナーを定期的に開催。					○	○	○											
	【多様な働き方の促進】 ・テレワーク制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を導入し柔軟な勤務形態をとっている。 ・ワークライフバランスを推進している。	○	○		・テレワーク、フレックスタイム、時差出勤、裁量労働等の各種制度を導入し、業務内容に応じて選択できる柔軟な勤務形態を整備。 ・FFG両立支援制度を導入し、仕事と生活のバランスをとりながらキャリアを積み、更に活躍することを応援。				○	○	○	○											
	【人権の尊重】 ・ハラスメントの防止など人権が尊重された職場づくりのため、ルールが定められ、教育・相談体制が整備されている。	○	○		・ハラスメント防止規定を整備し、社内に周知。 ・ハラスメントに対する相談窓口を設置。 ・人権問題やハラスメントについての社内研修を実施。				○	○	○	○							○				
	【従業員の心と体の健康への配慮】 ・長時間労働は正に取り組んでいる。 ・従業員のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように対策を取り組んでいる。 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる。	○	○		・最終退社時刻の設定や(営業店18:30、本部20:00)、早帰り日、早帰り週間設定により長時間労働を抑制。 ・パソコンのログにより労働時間を正確に把握。 ・定期的に健康診断やストレスチェックを実施し、必要に応じて産業医が面談。 ・人間ドック費用を補助。			○	○	○													
	【人材育成】 ・従業員に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している。 ・職場体験やインターンシップの受け入れ等、職業の学びの場を提供している。	○	○		・業務別、階層別に研修を実施。 ・ライセンス取得奨励金や外部スクール費用補助金を支給。 ・1on1ミーティングを実施し、各人の成長を支援。 ・大学生、大学院生、専門学校生向けに銀行部門とデジタル部門を中心にインターンシップ参加者を募集。				○	○	○	○											
	【廃棄物・有害化学物質の管理、3Rの推進】 ・廃棄物・有害化学物質の管理を適切に行い、また削減に努めている。 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている。	○	○	○	・環境方針を制定し、環境への負荷軽減に努めている。 ・紙資源、空き缶、ペットボトル等、再資源化可能な廃棄物の分別を徹底。 ・雑誌には環境配慮型用紙を使用している。 ・本社でリサイクルペットボトル専用自販機を導入。				○	○			○	○	○	○	○	○	○	○			
	【温室効果ガスの排出削減】 ・省エネルギーや再生可能エネルギーの利活用など、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。	○	○		・「自社CO2排出量削減目標」を設定し、2030年度までにCO2排出量ネットゼロを実現を目指している。 ・クリーンウォームピズを実施 ・LED照明の導入や新店舗への太陽光パネル設置等再生可能エネルギーの活用を実施。 ・営業車両にエコカーを導入。						○		○			○	○	○	○	○			
	【生物多様性、天然資源への配慮】 ・自社活動が生物多様性や生態系にどのような影響を与えるか確認して、持続可能な活動となるよう取り組んでいる。 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている。	○	○		・本社ビル、各営業店周辺の清掃活動に取り組んでいる。 ・植樹活動等実施し、天然資源の保護に取り組んでいる。							○			○	○	○	○	○	○			
	【水資源の有効活用】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、水の有効利用や節水に努めている。	○			・節水型トイレを導入。 ・多くの店舗に自動手洗栓を設置し節水に努めている。							○											
環境	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性や品質を確保するための仕組みを構築している。	○	○		・九州大学と共同し、企業のSDGsの取組を指標化する子会社サステナブルスケールを設立し、SDGs/ESG評価ツールSustainable Scale Indexを共同開発。 ・FFGベンチャービジネスパートナーズを設立し、ファンド投資による地域企業の成長を後押し。 ・x-tech match up(オンライン商談会)を開催し、地域企業のマッチングを実施。 ・地域企業の事業承継を含めたM&Aニーズに対応するため「FFGサクセション」を設立し、地域経済の活性化に貢献。						○							○					
	【社会課題解決】 ・社会課題の解決を意識した事業運営に取り組んでいる。 ・地域、大学、NPO、行政など多様な主体とのパートナーシップにより、社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	○	○	○	・SDGs私募債、SDGs外貨定期預金(米ドル)を取扱い、収益の一部を寄付。 ・九州大学とSDGs/ESGスコアリングツールSustainable Scale Indexを共同開発。 ・デジタル化支援コンサルティングを開始。 ・LGBTIに対応した住宅ローンを取り扱い。 ・在留外国人専用後払いチャージ機能付Visaプリペイドカード YOLO Cardを取り扱い。 ・企業の温室効果ガス排出量の測定ができるサービスを提供。						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	○			・個人情報の保護に関する方針等を示した「個人情報保護宣言」を制定し公表。 ・個人情報、顧客情報の適切な取扱に関して各職場におけるチェックを実施し、管理態勢の充実・強化に取り組んでいる。																○		
	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方方が社内に浸透し、法令を確實に遵守する体制・仕組みが整備されている。	○			・コンプライアンスに関する基本的な価値観、精神、行動基準を示した「コンプライアンス憲章」ならびに倫理規程、社内ルールおよび法令等を集大成した「コンプライアンス・マニュアル」を制定。 ・事業年度ごとに法令等遵守に係る重点課題や活動計画である「コンプライアンス・プログラム」を制定するなど、コンプライアンス態勢の継続的な実効性向上に努めている。																○		
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標の社内への共有が行われている。	○	○		・ステナビリティ方針およびSDGs達成に向けた7つの重点項目を特定し公表。 ・中期経営計画を策定し、公表。 ・従業員向けに経営計画を周知したうえで、各セクション毎に細分化した長期KPIを設定。										○	○					○		
公正な事業慣行・組織体制	【事業継続、事業承継】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している。 ・事業承継に関する検討・対策を行っている。	○	○	○	・緊急時行動マニュアルを作成し、定期的に訓練を実施。 ・緊急連絡網や緊急時のメール配信体制を整備し、定期的に訓練を実施。										○	○	○	○	○	○			